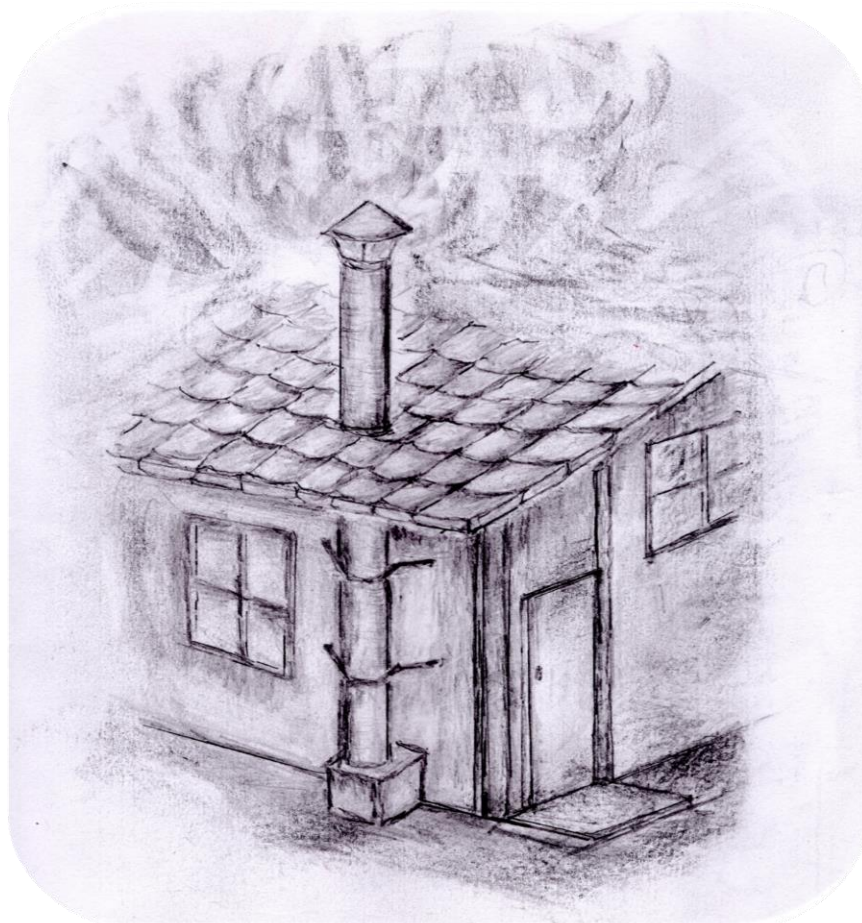


吹田の郷

発行/NPO 法人すいた市民環境会議 会長/小田忠文 ホームページ<http://www3.big.or.jp/~sskk/sskk.htm> 設立/1997年3月15日
事務局/〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3丁目8-28-106 中村小夜子 TEL/090-8375-0647 FAX/06-6386-9491 編集/会報委員会
年会費/正会員(個人・団体)1,000円、正会員(法人)10,000円、購読会員1,000円、賛助会員10,000円 郵便振込口座番号/00980-3-28845



目次

1. 表紙
2. 会長コラムと表紙の絵説明
3. 自然エネルギーすいた (SES) ニュース
「検証 電気代・ガス代はどのくらい上がっているか」
4. 生きもの委員会ニュース
「千里NTに希少種ヒキノカサ、更にイヌノフグリ」
「万博公園のラン科植物」
7. 生活環境委員会ニュース
環境講座「地球温暖化の現状と未来」
9. まちなみ委員会ニュース (まちなみ景観探訪案内)
「まちなみ景観探訪①～江坂の素晴らしい施設と彫刻」
10. 野生生物保護功労者表彰：環境大臣賞受賞
知床あれこれ
11. 古民家あれこれ
「北河内の茶室 (旧原田家)」
12. 2022年度通常総会 (案内) 他

春夏秋冬

会長 小田忠文

新型コロナウイルスで人の移動が制限され、旅行ができず、会議ができず、なにより歓迎会や送別会など宴会ができないまま丸二年以上が過ぎました。結果として街なかでのマスクやアルコール手指消毒、リモートワークが当たり前になるなど、3年前まで誰も想像すらできなかった世の中になってきました。そんな状況の今年2月末、プーチン戦争が始まりました。冬季五輪とパラリンピックの間に完結するともくろんだプーチンの計画は頓挫し、5月になると、「負けるのではないか」との観測が出てきました。▲ウクライナの反撃は欧米の支援があればこそですが、国内で重要な役回りをしたのは31才のフェドロフ副首相兼デジタル相だと言われています。フェドロフ氏が世界的富豪のイーロン・マスク氏に人工衛星でのネット環境の構築を直談判。マスク氏がすぐ対応し、偵察・攻撃でドローンの投入が可能になったといわれています。さらに開戦前からウクライナには行政サービスの100%オンライン化を目指すアプリがあり、これを使って地方の住民からロシア軍の動きが政府や軍部に瞬時に伝わったとも言われています。▲他方、昨年末 IPCC（国連気候変動に関する政府間パネル）は熱波、豪雨、干ばつなどに留まらず、氷河や北極圏の海氷の後退、海面上昇による沿岸部の洪水や海岸浸食などに気候変動の影響がすでに認められると書きました。このように戦争や気候変動に気をとられている間にプラスチック汚染問題がただならぬことになっています。本紙前号（2022/3）6頁の「海を守ろう！

プラスチックごみの今」にあるようにマイクロプラスチックは魚類の体内や食塩にとどまらず人の血液からも検出されるようになってきています。このことによる人体への悪影響の有無はまだ不透明ですが、不安です。気候変動もプラスチック汚染も世界が力を合わせて対処しないと解決は程遠いことは明らかで、世界が分裂して対立している場合ではないのに、どうなるのでしょうか。▲日本に目を向けると、本紙125号(2019/12)のコラムで書いたように東日本大震災の復興税が終了する2024年度から森林環境税が始まります。総務省によると住民税を払っている人から国税として1人年額1,000円を上乗せして課税し、税の規模は約620億円で使い道は荒廃した山の整備とのこと。しかしそもそもこの森林環境税は、復興税が終るので今まで入ってきた税金がなくなることを嫌う政府が「森林を守るためならいいだろう」と税の名前を変えて徴税を続けようとしたと勘ぐれます。そのため法の施行を目前にして「地方税と国税のあり方」や「受益と納税」「税の配分」という点での論議があるそうです。どのように決着するのか注目しています。▲もうひとつ気になることがあります。IR誘致は和歌山、横浜、苫小牧、千葉の各市が撤退し、手を挙げたのは長崎市と大阪市の二つだけ。当初大阪市は2025年万博と同時期にIRを開業予定だったのが、コロナや国のスケジュール遅延のため、「2020年代後半に部分開業」と方針を変更しました。多額の税金をつぎ込んでいる事業なのにその決定過程で住民の声を聞かないままでいいのでしょうか。事業そのものについて後藤市長は自身のブログで「人の経済的損失を収入とする活動を都市の核に位置付ける考え方は、本市にはなじまない。」と書いておられます。

<表紙の絵>

思い出の原風景シリーズ（13）

「煙突」

春のお彼岸も過ぎて、日が長くなったことに気づくころ、夕暮れ時の集落に「煙」がたなびき、夕餉の支度が始まったことを知って、野山で遊び惚けていても、家路を急いだ子供のころを思い出す。

1960年ごろ迄の山村の生活は、今と違って、どこの家にも「土間」があり、「かまど」が据えられ、煮炊きする煙が「煙突」から立ちのぼっていた。そんな山村の生活を変えたのが「プロパンガス」と「炊飯器」などの電化製品の普及で、「土間」と「かまど」が取り払われ、「煙突」から立ちのぼる煙も姿を消して、山村の家屋の間取りまで変えてしまった。

（表紙の絵と文：生きもの委員 塩田 敏治）



検証 電気代・ガス代はどのくらい上がっているか

最近、身近な話題として光熱費の値上げがよく取り上げられます。実際にはどの程度上昇しているのでしょうか。様々なデータで、1年前と比べてみます。

1. 現在の状況

まず、経済統計データ（4月分消費者物価指数/総務省統計局）から見ると、全国平均前年同月比で電気代+21.0%、都市ガス代+23.7%の上昇です。意外と大きな上昇幅です。次に、関西電力です。住宅で一般的な従量電灯Aプランの120kWhまでの単価で見ます。電力料金±燃料費調整単価+再エネ賦課金となりますが、

昨年4月:20.31-1.16+2.98=22.13 円/kWh

今年4月:20.31+2.24+3.36=25.91 円/kWhで、+17.1%となります。大阪ガスでは、1か月のガス使用量が50m³までの単価で見ます。基準単価料金±単価調整額となりますが、

昨年4月:144.52-20.68=123.84 円/m³

今年4月:144.52+18.26=162.78 円/m³で、+31.4%となります。最後に、我が家のデータで見ます。某社で電気・ガスとも契約しているのですが、昨年4月分の電気代は168kWh使用で全て含めて3,917円=23.32円/kWhです。今年4月分では155kWh使用、4,156円=26.81円/kWhです。上昇率は+15.0%です。同様に、昨年4月分のガス料金は31m³使用、5,071円=163.58円/m³に対して、今年4月分では31m³使用、6,199円=199.97

円/m³となり、+22.2%です。まとめると下表の通り、この1年で概ね2割の上昇であり、電気よりガスの方がより上昇したと考えて良さそうです。

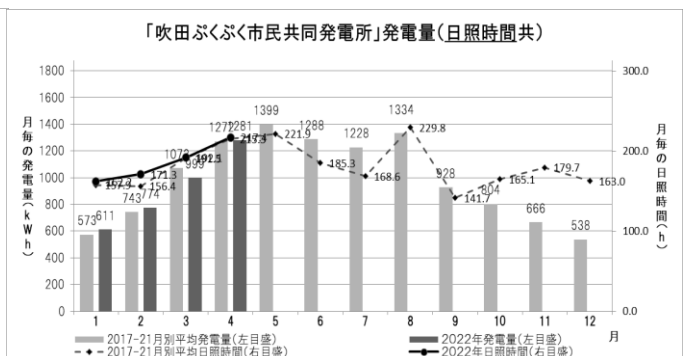
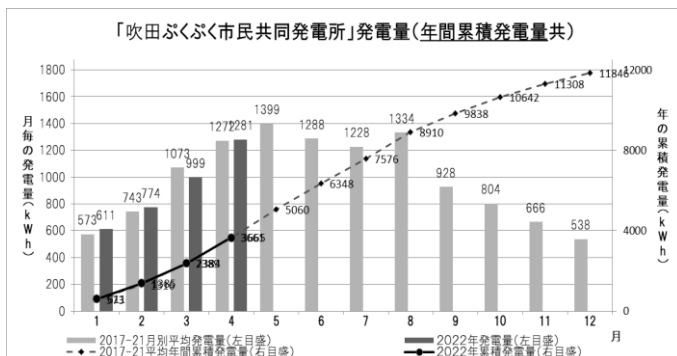
表 2021年4月から2022年4月までの上昇率

	電気	ガス
消費者物価指数	+21.0%	+23.7%
関西電力又は大阪ガス単価	+17.1%	+31.4%
我が家の実績	+15.0%	+22.2%

2. これからどうなる？

では、これからはどうなるのでしょうか。もちろん、将来のことは分からないのが前提ですが、4月までの上昇には、今年1月までの燃料価格しか反映されておらず、3月のロシアによる侵攻の結果上昇した原油や天然ガスの価格はまだ反映されていません。加えて、電気料金への燃料費調整単価は既に値上げ上限を超えており、仮に燃料価格が今のままとしても基準見直しにより電気料金の上昇が予想されます。為替は現在円安傾向にあり、燃料価格上昇の一因ですが、当面は日銀の政策方針により円高にはなりにくい状況です。更に、冬には欧州の天然ガス不足が再び顕在化する可能性があり、今年から来年にかけて更に値上がりするだろうというのが私の見方です。

吹田ぶくぶく市民共同発電所の発電概況は以下の通りです。2月概況：日照時間が対平均値約110%と長かったため、発電量も約104%と順調でした。3月概況：日照時間は平均値並みで、発電量は対平均値約93%でした。4月概況：日照時間・発電量とも平均値並みでした。1～4月累計で、平均値並みの発電量となっています。



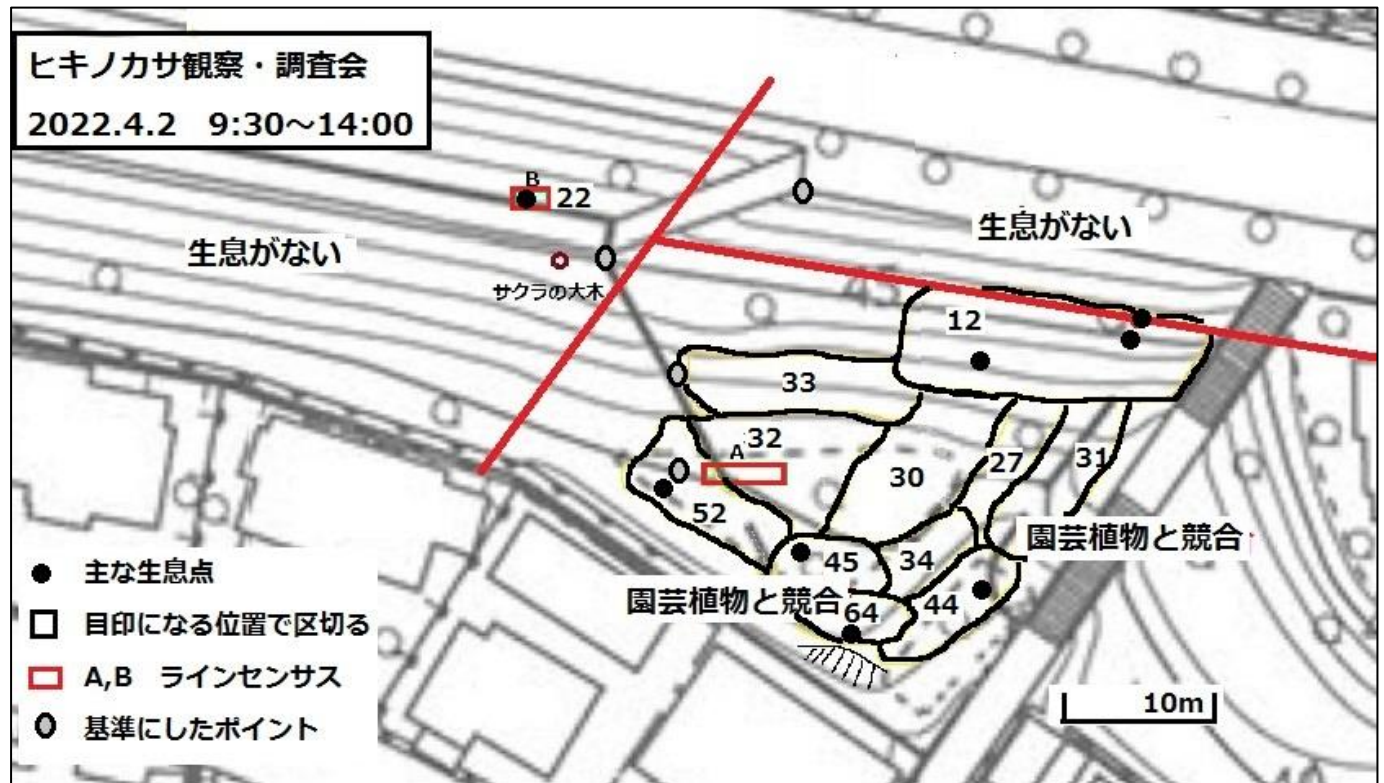
千里 NT に希少種ヒキノカサ、更にイヌノフグリ

生きもの委員会 平軍二・尾方義雄

1. 2022 年ヒキノカサ生息数は 426 株

前号に『千里ニュータウンで見つかった「ヒキノカサ」が Nature Study 誌に』として掲載したヒキノカサについて、個体数調査を主とした観察会(2022.4.2)を開催した。「ヒキノカサ」は 2013 年に発見して 9 年となるが、正式な観察は昨年からで、今後の保護、園芸種等との競合などの基礎データがなかった。

ヒキノカサは周りの野草に比し草丈が小さいことから、他の野草と混じわっていてカウントが難しい株もあったが、確実な株のみで 426 株を記録した。実際は、これより多かったと思われる。



以下、調査結果をまとめた。

- ①ヒキノカサは、サクラの大木の西側、上部の道路近く、植栽がある東側階段近くに出現していない。
特にサクラから西の樹林では、日当たりが悪い上、木々の根に水分をとられることから、湿地性のヒキノカサは分布を広げられない(生きられない)ものと思われる。
- ②多く生息していたのは、斜面下部の水の染み出すところであった。ヒキノカサは湿地的な環境が必要なことを示している。
- ③ヒキノカサは6月には地上部がなくな



り休眠期に入るため、真夏の乾燥に耐えられると思われる。この場所が改変工事などによる掘り返し(地面の攪乱)がない限り安定的に生息すると思われる。

- ④ヒキノカサ生息地は、ヤマサギソウの阪急電車延伸予定地(青山台)のような緩やかな斜面でないため、コードラートなど設置が難しく、生息分布がとりにくかった。
- ⑤昨年生息状況など把握ができずにいたので、簡単にA,Bのラインセンサス区間の設定を試みた。昨年多く生息していた所であったが、適正な場所ではなかったのが今後の課題である。
- ⑥階段近くは、近隣の人が設置した「花壇」となっており、その植栽と競合している。「花壇」のあるところが湿地性のヒキノカサにとって好適地であるので、花壇をこれ以上広げないよう、近隣の人との話し合いを続けていきたい。

2. 南千里駅周辺で希少種(イヌノフグリ・イヌナズナ)、そして新規外来種(シロイヌナズナ)

ヒキノカサ調査・観察日(4/2)は、尾方氏などが残ってヒキノカサ調査を続け下さったが、大部分の方には、同じ佐竹台に生息している「ギンラン」群生地を観察した後、南千里駅間周辺で「イヌノフグリ」「イヌナズナ」「シロイヌナズナ」を観察してもらった。

- ①イヌノフグリはヒキノカサ観察会に参加された近畿植物同好会植村修二氏が当日集合同場所に来る途中見つけられたホットな種である。

「レッドリストすいた 2021」では吹田市には無くなった種(EX)としていたが、今回民間マンション敷地内に見つかった。

私(平)は、マンションの管理人さんに「雑草であっても草取りをしないで」とお願いしたが、後日現地を確認したところ、上記右写真のように「雑草も抜かないで」と表示して下さっていた。既にイヌノフグリの生育期間が終わり、イヌノフグリの姿が全く無くなっていたので、マンションの管理人さんには、来年3月頃までは通常通りの管理に戻して下さいとも良いことをお伝えしてきた。

近縁種オオイヌノフグリが良く知られているが、オオイヌノフグリの生活力が旺盛で在来種のイヌノフグリが追いやられ、今ではほとんど見るできなくなっているものである。

尚、「フグリ」は「陰囊」のことで、実の形が犬のソレに似ていることからつけられている。



- ②「イヌナズナ」は 2015 年アジェンダー観察会下見で、南千里済生会病院前で初めて観察していた。更に今



回ヒキノカサ観察会に参加された上記植村修二氏により、南千里駅近くに外来種「シロイヌナズナ」が生息していたと言われたので、南千里駅周辺を探してシロイヌナズナを確認した。ナズナ・シロイヌナズナはともに花が白色であるが実の形が違うこと、イヌナズナは花が黄色いことから違いが分かる。

このイヌナズナにも接頭語として「イヌ」がついているが、イヌノフグリの場合と違い、春の七草として有名なナズナ

が食べることができるのに対し、食用にならず役に立たないということで、イヌナズナとつけられたとのことである。

1. クゲヌマランの現状 万博公園にあるラン5種のうち「クゲヌマラン」は4月に咲くため、万博公園の希少種観察+調査会を4/16、更に近畿植物同好会植村氏の希望で5/16に観察会を実施した。クゲヌマランは本来林床に生育している筈が、樹林が伐採されたため、草はらで生きているが、ラン菌と共生しているので、草はら化した生育地で、いつまで生き続けるか懸念がある。そこで、

①草はらで生き続けてほしいため、草刈り、そして生息数調査

②クゲヌマラン・ギンランが生息している(ラン菌があると思われる)所に、種子播きによる発芽・生育試験などを、実施している。

②については、先月報告した万博公園内での樹林改変工事のため、この2年間通行止めが多く、発芽・生育試験状況を確認できないまま経過している。

一方、①クゲヌマラン生育個所は自然文化園の東側で、花の最盛期は大型イベントがあったため、その前後で調査した。

結果は右表の通り、概数とはいえ2020年、2021年に比し、漸減傾向にある。おそらく、日当たりが良くなり草丈の高い野草との競合が増し、クゲヌマランが生き続けることは厳しくなっていると思われる。来年度は園内の大型イベントを避けた調査時期を設定し、正確な株数確認を行いたい。

	2020年	2021年(4/30)	2022年(4/20・5/5)
①	7株	7株	1株
②	18株	18株	15株
③	98株	98株	61株=59+2
④	約200株	4株	1株
⑤	30株	30株	15株
⑥	—	—	1株
⑦	約10株	12株	12株(5/5)
小計	約210株	169株	106株
⑧(学習館北側樹林内)			1株
⑨(ピオトープ池北側移植株)			3~4株?
合計			110株±?



2. タシロラン生育地の改変計画 万博公園では緑整備部会による森づくり検討が行われていることを先月報告した。その計画検討場所の一つにタシロラン群生地(●)があった。

タシロラン・クゲヌマランを含めたラン5種や、それ以外の希少植物がどこにあるか知ってもらった上で、改変計画を進めてもらうため、緑整備部会の委員をされている、大阪公立大学教授今西純一先生に万博公園に希少植物の生息場所を知ってもらうことにした。



タシロランの最盛期が6月下旬であるため6/29に、今西先生のみでなく、緑整備部会の先生方にもお声掛けいただき、希少植物観察会を計画した。

万博公園のような人工樹林で、ラン科植物が5種も生息している所は無いと思われ、生物多様性面で希少価値があるので、ランが生き続けるための暗い常緑樹林を残すことも必要になる。一方昆虫や野鳥などが多種・多様に住める環境は、暗い林よりはむしろ明るい落葉樹林と思われる。

平がライフワークとしてきた万博公園の野鳥面からは、密生した暗い常緑樹林より明るい落葉樹林の方が、生息する野鳥や個体数が多くなると、期待している。しかしそのために、万博終了(1971年)から50年かかって育まれたラン科植物の生息環境を無くしたくないので、緑整備部会の先生方には、万博公園の希少植物を知っていただいた上で、「暗い常緑樹林と明るい落葉樹林」両者のバランスが取れた環境を作ることを目標にしてもらいたいと思っている。(20220525記)

地球温暖化の現状と未来 ～私たちにできること～

理事 金指 弘

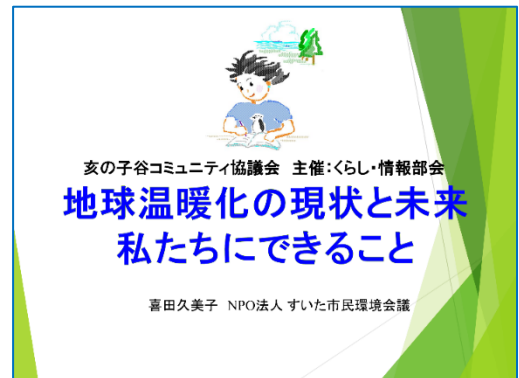
2022年3月29日（火）環境講座に参加しました。

場所：吹田市亥の子谷コミセン

講師：喜田久美子（NPO 法人すいた市民環境会議副会長）

約20名の参加者とともに、待ったなしの温暖化への対応と、温暖化への「適応」についての講義後、グループに分かれてのワークショップでは、「市民として何をしたらよいか」を話し合いました。

（右写真：喜田副会長）



皆さんにも「地球温暖化」について、講義内容とワークショップで話し合った内容を紹介します。

1. 気候危機～温暖化の現状と異常気象について

『おおさか気候変動「適応」ハンドブック』（大阪府 エネルギー政策課が編纂）をテキストとして使用。

1) 世界の異常気象・気象災害

- ①国連の気候変動に関する政府間パネル(IPCC)は、昨年8月(第1作業部会)に続いて2月末には第2作業部会が最新の報告書を公表しました。第1作業部会では、温暖化が人類の排出した温暖化効果ガスであることは「疑う余地がない」と断定し、20年以内に産業革命前からの平均気温が1.5度上昇する可能性があるとしています。加えて今回の第2作業部会では、すでに広い範囲で損害や被害を引き起こしておりこのままでは「適応の限界」がくると警告しました。
- ②大阪は世界全体や日本全体よりも早いスピードで気温が上昇している（より暑くなっている）
- ③このまま気温上昇が続くとどんな影響が出るのか？
 - ・海面上昇、高潮被害 ・豪雨、洪水被害
 - ・インフラ機能停止 ・健康被害 ・食糧や水不足
 - ・海洋、陸上生態系損失 などなど



2) 緩和と適応について

「緩和」：CO₂を減らす

温暖化ができるだけ進まないよう、
温室効果ガスの排出を減らす取り組みを大切にする。

「適応」：変化する気候に備える

将来予想される気候変動の影響に備え、その被害を回避し、又は和らげ、もしくは有益な機会として生かしていくことがこれからは必要と考えて対応する。

3) 地球温暖化×緩和・適応

温暖化に対応する具体例として、NPO 法人すいた市民環境会議の温暖化への取り組み紹介があった。「大木調査」と「市民共同発電所の設置」のポイントは以下のとおり、

①「大木調査」により大木を守る意義

- ・CO₂を吸収してくれる樹木を守り、緑を増やす（緩和）
- ・大きな木の下は、休息の場となり、熱中症予防になる（適応）
- ・樹木は動物や虫たちなどにとって生きる場所なので、樹木を守ることは生物多様性を守ること（適応）



②「市民共同太陽光発電所の設置」によるエネルギー問題解決の意義

- ・自然エネルギーにシフトする（緩和）
- ・再生可能エネルギーによる電力を確保し、災害時には非常用電源として役立つ（適応）

2. 私たちのできること

私たちにできる事をワークショップで各人が自分事としてとらえ、情報を活用して熱中症や豪雨などに備えることを確認し、生活の色々な場面でのアイデアを出しあいました。

<ワークショップ>

下記の点について、グループ（4人ぐらい）で話し合ってメモに書きだし、グループ毎に発表した。

- ・私はこんなことをやっています
- ・いま実行していること、
- ・これから実行しようと思うこと



実行していることに☑をつけてみましょう。

<発表内容の一部>

- ・エアコンと扇風機を併用しよう
- ・賞味期限は気にしない（自己責任）
- ・やっぱりエコドライブ大事だね
- ・ぜいたくしないでキチキチ生活
- ・炭素税導入も考えるべき
- ・未来に向けて痛みは分かち合う
- ・省エネ機器を使う
- ・自転車利用の促進
- ・ガソリン車でなくEV車を買う
- ・家族や友人と話そう

などなど色々な提案が出されました。読者の皆さんも、右のエコライフチェックで、ご自分のエコな行動の確認をしてみてください。

自分事として考え持続可能な方法でどんどん実行していきたいものです。

<おすすめアクション>

- ・環境家計簿
- ・みどりのカーテン
- ・エコクッキング
- ・電気を選ぶ
- ・買い物で応援する
- ・社会の動きに関心を持つ
- ・SDGsさまざまな問題解決とともに環境活動への参加

1		部屋を出るときは照明を消し、見ないときはテレビを消す
2		電灯をLEDに切り替える
3		冷暖房の設定を控えめにする。(冷房は28℃、暖房は20℃でいい)
4		クーラー使用時は扇風機を併用する
5		エアコンのフィルターはこまめに掃除する
6		冷蔵庫のドアの開閉回数を減らす
7		冷蔵庫に詰め込みすぎない
8		食品は冷ましてから冷蔵庫に入れる
9		風呂はさめないうちに、家族が続いて入る
10		使わない時はガス給湯器の電源を切る
11		洗濯は量をまとめて行い、回数を減らす
12		乾燥機を使わず、なるべく天日干しをする
13		掃除機をかける前に部屋を片付ける
14		食器洗いの時、水を流しっぱなしにしない
15		歯磨きや洗顔中は水を出しっぱなしにしない
16		入浴時にシャワーを出しっぱなしにしない
17		風呂の残り湯は洗濯や掃除や打ち水に利用する
18		建物の多少の昇り降りにはエレベーターを使わず階段を使う
19		買い物には買い物袋を持参する
20		省エネ製品や包装が少ないなど環境にいい商品を選ぶ
21		近い所へは徒歩や自転車で行く
22		車を運転するときはエコドライブを心がける
23		住宅の保温、断熱化を行う（カーテンやすだれの利用、二重窓など）
24		物は大切に、家具や電化製品は修繕をして長く使う
25		家族で環境問題について話をする
26		★
27		★
28		★
いくつ実行していましたか？☑の数 ____個 これからやってみたいことに○を		

★には、あなたが実行している上記以外のエコな行動を記入していきましょう。

20220329 SSKK

まちなみ委員会ニュース

まちなみ景観探訪①（ご案内）

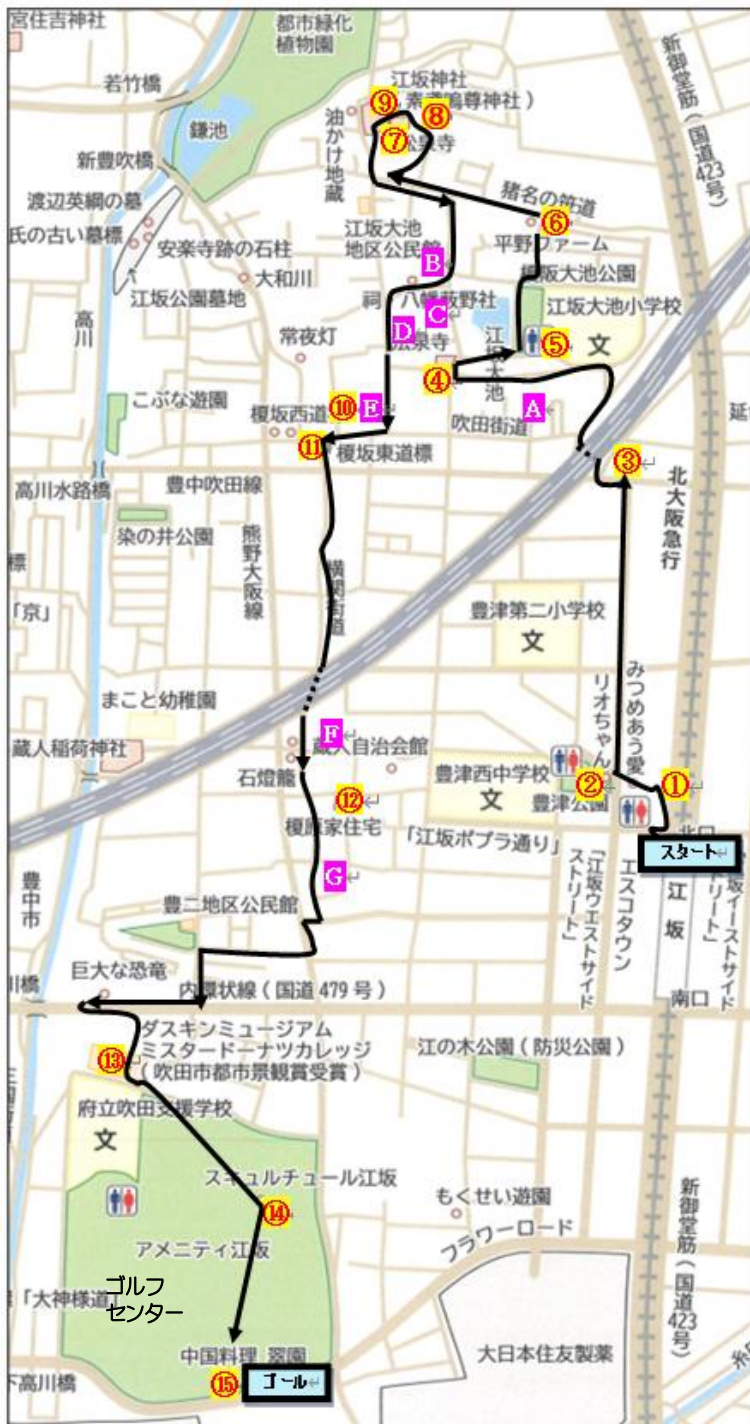
～江坂の素晴らしい施設と彫刻探訪～

まちなみ委員 金指 弘

吹田市は、吹田市景観まちづくり賞で、吹田らしい魅力的な景観を創出している建築物又は工作物、屋外広告物、敷際、まちなみ、より良い景観づくりのための活動など、景観まちづくりに対する市民意識を高めることを目的に、幅広く推薦作品の募集を行い、表彰しています。

今回の“まちなみ景観探訪①”は、江坂地域で魅力的な景観を作り出している施設や彫刻などを探訪する企画となっています。まちなみ景観に興味をお持ちの方は、奮って参加ください。

江坂駅の西側地区は、エスコタウンを中心に都会的な賑わいは吹田随一ですが、奥に入ると古い集落の名残りが残り、新旧入り混じった地区です。



【日時】2022年6月28日（火）

10:00～12:15頃 少雨決行

【集合】江坂駅北改札口 10:00

- ①ダスキン本社ビル→②豊津公園
- ③トンネルアート→④法泉寺
- ⑤榎阪大池公園 WC→⑥平野ファーム
- ⑦素盞鳴尊神社（江坂神社）
- ⑧松泉寺→⑨油かけ地藏 WC
- ⑩ダスキン誠心館
- ⑪榎坂東道標・西道標
- ⑫榎原邸と蔵人のまちなみ
- ⑬ダスキンミュージアム
- ⑭スキュルチュール江坂
& リーニュ・ブランシュの庭

A～Gは、
現存する旧「榎坂村」や旧「蔵人村」
の古民家の所在地を示しています。

【解散】中国料理「翠園」前 12:15頃

【送迎バス時刻表】（江坂駅行）

アメニティ江坂ゴルフセンター前発

※毎時20分間隔 00 20 40

※運行時間 9:00～21:00

【参加費】会員：200円、一般：300円

【申込み】締切：2022年6月25日（土）

金指弘（かなさし）

FAX 06-6310-7333

kanasashi@sutv.zaq.ne.jp

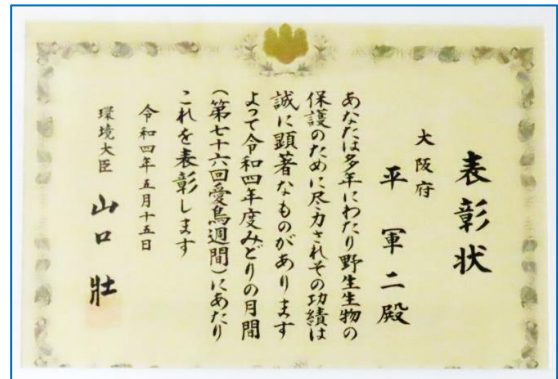
※FAXとメールだけの受付としています。

令和 4 年度 野生生物保護功労者表彰 当会理事の平軍二さんが受賞！

日本野鳥の会大阪支部、吹田野鳥の会、すいた市民環境会議で大活躍なさっている平軍二さんが、第 76 回愛鳥週間 令和 4 年度 野生生物保護功労者表彰環境大臣賞を受賞しました。

【功績概要】 環境大臣賞 ^{ひら ぐんじ} 平 軍二

- 1) 鳥獣保護員として大阪府北部の鳥獣保護や自然環境保全に務め、毎年のガンカモ調査では吹田市のため池調査を担当している。
- 2) 日本野鳥の会大阪支部、吹田野鳥の会、すいた市民環境会議内で探鳥会・野鳥調査を実施し、吹田市周辺の野生生物保護・保全に関する普及啓発に努めている。
- 3) 調査結果をベースに希少植物の保全や吹田市内の植物、野鳥について絶滅危惧レベルをランク付けし、「レッドリストすいた 2021」として公表した。



【令和 4 年度野生生物保護功労者表彰について】

環境省では、野生生物保護に関し特に顕著な功績のあった個人、学校及び団体に対し、その功績をたたえるために、環境大臣賞及び環境省自然環境局長賞を授与しており、都道府県等により推薦された者につき、環境省、文科省、林野庁、(公財)日本鳥類保護連盟担当者ほか専門家 3 名から成る野生生物保護功労者表彰審査会の審査を経て、各賞の受賞者を内定し、環境省においては「環境大臣賞」6 件及び「環境省自然環境局長賞」6 件を決定し、表彰しています。

例年、愛鳥週間(5月10日～16日)に(公財)日本鳥類保護連盟と共催し全国野鳥保護のつどい記念式典を開催して表彰を行っていますが、本年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、集合形式での式典を中止とし、昨年度同様に、事前収録した環境大臣メッセージ等の動画で構成する式典を令和 4 年 5 月 15 日(日)に公開されています。 ※(公財)日本鳥類保護連盟のホームページを参照

知床あれこれ

理事 小田信子

4月23日、知床斜里町では観光船の事故がありました。1か月以上が過ぎても行方不明の方々が多くいらっしゃいます。被害にあわれた方々のご家族などが報道関係者たちに囲まれる姿はいつ見ても痛ましいものです。斜里町長が報道関係に対して家族の方々の心痛を考えて取り囲み追い回すのは止めてほしいと発言され、それに基づき報道関係が話し合い、代表がインタビューをするなどの約束をしたとの報道がありました。200人程の職員が今も家族の方々に寄り添いお世話をするなど心を配っているとのこと。毎年のように斜里町を訪れる身としては町の人々が誇らしく思っています。

一方、知床全体ではヒグマに対する観光客の対応に追われています。そしてようやく国が自然公園法を改正しました。2022年4月1日から自然公園法が改正され、国立公園・国定公園の特別地域では、ヒグマへの接近・つきまとい・餌やりは、違法行為になりました。

違法行為は最高 30 万円の罰金です。人に慣れることで捕殺されるヒグマが少しでも減ることが目的です。



無人のレンタカーの車内をのぞきこむ若いヒグマ
(個体識別コード: BS) 知床財団ホームページより

～ 古民家あれこれ ～ 北河内の茶室(旧原田家)

千里山西 中野直衛
(日本民家集落博物館ボランティア)

日本民家集落博物館で展示復元している「北河内の茶室」は、平成 17 (2005) 年に大阪府交野市から移築復元されました。



北河内の茶室 (旧原田家)

所在地：

日本民家集落博物館
(豊中市服部緑地 1-2)

TEL : 06-6862-3137

北河内の茶室は、その立地に変遷がありました。最初は守口市庭窪にある北田家の庭園に建てられ、その後、幕末の嘉永 4 (1851) 年に交野市私市 (かたのしきさいち) の北田家を経て、戦後、同私市の北田家の親戚筋にあたる原田家に移築され、離れとして利用されていました。

この茶室は、江戸時代の茅葺きで土壁の数寄屋造りです。

茶室が守口にあった当時 (文政年間 : 1818~1829 年)、陽明学者の大塩平八郎が元守口宿近くの白井家で講義を行った後に、この茶室をしばしば利用したとの口伝が残されています。真偽のほどは定かではありませんが、歴史を感じる建物として、現在は、貸部屋にもよく利用されています。

茶室の間取りは、炉や地袋付きの地板、露地の敷石に面したにじり口を備えた四畳半と、それに隣接し水屋と物入れが付属した三畳の勝手の間からなっています。これら二つの間に沿って L 字型に濡れ縁が取り付けられています。

茶室では、イベント時などにおいて、茶道の心得のあるボランティアによってお茶が点てられています。また茶室は、園内奥の高台に立地していることから、濡れ縁に腰かけながら一味違った展望を楽しむことができます。

注記：上記の絵も筆者の作画です。

(参考文献)「民家の案内」(日本民家集落博物館 刊行図書) A4 版 56 頁 631 円 送料要確認

2022年度(第24回) 通常総会 案内

日 時 2022年6月18日(土) 15時~16時

場 所 理事・監事のみのお出席による開催のため、表記省略

(理事・監事以外の正会員は、今総会においては書面表決または委任状での参加)

< 総会次第 >

< 議案審議 >

- | | |
|------|--------------|
| 1号議案 | 2021年度事業報告 |
| 2号議案 | 2021年度事業決算報告 |
| 3号議案 | 2022年度事業計画 |
| 4号議案 | 2022年度事業予算 |
| 5号議案 | 監事の選任について |

正会員は同封はがきの「議決権行使書」または「委任状」をご提出ください

6月15日(水) 必着でお願いします

☆問合せ先:事務局 中村小夜子 TEL 090-8375-0647 FAX 06-6386-9491

~~ 寄付のお礼 ~~

会員会計 小田信子

2021年4月1日から2022年5月25日の間に多くの方々から501,262円のご寄付を34名
匿名4名 法人2件の方々から頂戴いたしました。心からお礼を申し上げます。

富淑子 井上衣子 上村和功 尾方義雄 岡本智子 小田忠文 金指弘 川畑清美 小西澄子
川見美智子 塩田利治 塩谷和久 下村敬三 瀬屋好治 大倉由美子 平軍二 田中隆三
茶園征也 長岡弘隆 中野直衛 西川整子 檜田清治 安田直子 敷床富美子 越智清光
喜田久美子 上田万吉 水川晶子 前田芳聰 草野弘靖 林文子 中村小夜子 木下嘉清
長谷川美津代 NPO 環境情報ステーション pico と NAZ 医療法人とくだクリニック
ドリーマーぶくぶく 匿名4名(順不同)

~~ 2022年度会費振込のお願い ~~

- ・同封の振込用紙で振込下さい。
 - ・封筒の宛名ラベル(右)に記載の〇〇年度分までの会費が
納入済みです。(20年度の方は2年分お願いします)
 - ・できれば寄付も合わせてお願いします。
- 尚、振込手数料の都合上複数年度の振り込みも受付けます。
但し、定款で振り込まれたお金の返金はできませんのでご了承ください。途中で退会なされた場合はご寄付として扱います。

(会員会計 小田信子)

〒564-0032

吹田市内本町

〇丁目××-△

吹 田 太 郎 様

正会員 21年度